



自主防災組織の役員など多くの市民がセミナーを傾聴

市は、自助・共助・公助が連携した地域ぐるみの防災活動により、安全・安心な生活環境の実現を目指して2月10日、地域ぐるみ防災セミナーを江刺総合支所多目的ホールで開催しました。

東日本大震災が起こった年から安否確認訓練を実施する原中第三町内会防災会が先進的な自主防災組織活動の事例を発表したほか、盛岡地方気象台観測予報管理官高橋勉氏が「防災気象情報の活用」と題し講演。自らの命を守るためには日ごろからの情報収集が大切であると説明しました。

「安全・安心な暮らしを目指し、防災を学ぶ」



受講生による成果発表の様子

地区振興会などの地域自治組織やNPOなどの市民活動団体をリードし、「協働のまちづくり」推進の担い手となる地域リーダーを育成する市協働のまちづくりアカデミー。2月4日、江刺体育文化会館ささらホールで開催した市民憲章推進大会・協働のまちづくりフォーラムで、地域課題解決の実践を展開した3つの班が、それぞれの成果を発表しました。

第4期までのアカデミー修了生は累計80人となり、そのネットワークを活かした地域における活動の推進が期待されます。

「地域リーダー育成する「協働のまちづくりアカデミー」第4期」

みずさわ 寒さ吹き飛ばす室内雪合戦
第13回Zアリーナスポーツまつり室内雪合戦

室内雪合戦（市文化振興財団主催）が2月4日、市総合体育館（Zアリーナ）で開催されました。小学生の部に15チーム、中学生以上のフリーの部に11チームが出場。雪玉代わりのソフトテニスボールを投げ合ったり、相手の旗を狙って走ったりと、熱戦を繰り広げました。

初出場ながら、見事に相手チームの旗を抜いた羽田小6年の菊池陽菜さん（12）は「やった、とった！という気持ち。相手が多く残っていて難しいと思ったけれど、チャレンジしました」と喜びを語りました。



積極的に敵チームの旗を狙うのが勝利のカギ！

みずさわ ふれあい楽しんで実践学習
大人・子ども・奥州の未来塾

大人・子ども・奥州の未来塾（子どもの未来を育てる「群」の会、東北「桜屋」企画主催）が2月18日、水沢南地区センターで開催されました。市民提案型協働支援事業コラボレーションコースの対象となった初めての事業で、大人と子どもが一緒になり、子ども会などの地域活動に役立つ考え方などを学びました。

市内の小学生、水沢ジュニアリーダーズクラブJUMP、子ども会育成会役員・世話人など82人が参加。意見交換会などで考え・思いを共有しました。



子どもたちが行った調理体験。熱々ごはんのおにぎりづくりは大変！

裸の男と炎のまつり
黒石寺蘇民祭



- 1 瑠璃壺川で身を清める「裸参り」
- 2 燃える木を手にし祓いが行われる
- 3 蘇民袋の口や小間木を奪い合う祭りの呼び物「蘇民袋争奪戦」
- 4 柴燈木に登り、火の粉を浴びながら「ジャンプ・ジョヤサ」と氣勢を上げる

奥州の冬祭り

岩手いさわ フラと火のまつり
全日本農はだてのつどい

- 5 小学生による「福俵キャッチ」で祭りは幕開け
- 6 「大縄ない」には来場者も参加し、祭りのシンボルを制作
- 7 大きさは直径2.4m、高さ2mで日本一の「大白福餅つき」
- 8 クライマックスとなる厄年連による豊作と福を引き寄せる「福俵引き」